

農業後継者育成基金事業

令和2年度農高・農大就農促進対策事業（農高就農促進対策助成）

事業主体名 霧島市立国分中央高等学校

1 目的

農業への興味・関心を高め、農業を進路の一つとして捉えられるように、専門的な学習の取組で、農業者としての能力や態度を育成することを目的とする。

2 実施状況

(1) 視察研修

1年生 35名は、農業大学校の一日体験学習に参加し、農業を志す先輩方の姿に触れ、進路選択の一つとして考える機会となった。

2年生は、野菜班2年生 14名が、先進地視察研修（鹿児島大学、都市農業センター、先進農家）に参加した。農業経営感覚を肌で感じ「農業を職業にしたい」と感想を述べた生徒もいた。

(2) 農業体験講話

萬田農園の萬田正治氏による合鴨農法に関する取組や「地域の農業」、「命」、「食」について講話をしていただいた。農業の意義を学ぶ機会となり、生徒も興味深く聴講した。

(3) HACCP システムトレーニング 研修

国際水準食品安全規格ではHACCPの考え方が必要であるため、2年生 37名を対象にトレーニングコースを受講した。

(4) 収穫祭

コロナ禍ではあったが、学んだHACCP（危険危害分析の手法）を生かし、「何ができるか」を生徒が主体的に考え取り組むことができた。また、日頃の生活に感謝する機会となった。



農大1日体験学習



農業体験講話

3 今後の課題

農業教育の持つ多面的な体験学習から専門知識や経営感覚を学び、農業経営者や農業関連従事者を目指す意識を高めることができたと感じている。

今後は、2015年国連サミットで採択されたSDGs（持続可能な開発目標）も視点として取り入れた活動も実施したい。

今年度、農業関連産業へ進む卒業生は、農業大学校3名、農業協同組合2名の計5名であった。今後も農業の「経営者、従事者、理解者」の育成に取り組んでいきたい。



収穫祭（リスク管理されたBBQ）